

2026.1.21

盛岡市地域おこし協力隊活動報告

Morioka City Regional Revitalization Cooperation Volunteer Activity Report



盛岡市地域おこし協力隊
杉田 有衣
所属：商工労働部経済企画課
委託先：盛岡まちづくり株式会社

CHAPTER 1 | 活動テーマ

CHAPTER 2 | 具体的な活動内容

CHAPTER 3 | 新規プロジェクト

CHAPTER 4 | 新規事業立ち上げ

CHAPTER 5 | 今後の活動

CHAPTER 6 | おわりに



CHAPTER

1

活動テーマ

まちなかの賑わい創出による 中心市街地活性化

活動テーマにおける課題・目的・目標

課題 | 人口減少、少子高齢化、郊外型大規模小売店の進出などにより、中心市街地の賑わいが失われつつある。

目的 | 新たな魅力づくりや効果的な情報発信などを行い、賑わいの創出を図る。

目標 | 中心市街地の活性化に資する事業の計画実施、収益事業の確立。

CHAPTER

2

具体的な活動内容

商店街が行う取組の支援



2023年7月23日(日)
大通商店街・大通パラダイス
ゆかたのまち盛岡PR活動



2023年10月21日(土)
盛岡駅前商店街・もりおか駅前開運ホコテン
映画鑑賞推進連携事業、当日運営サポート

盛岡まちづくり株式会社の事業サポート



人流分析システム関連業務
中心市街地の13ヶ所にカメラを設置。
AIによる人流分析を実施。



2024年2月8日(木)・9日(金)
工房見学会
県内外のバイヤーに盛岡市内の工房を案内。

CHAPTER

2

具体的な活動内容

自主企画・新規事業立ち上げ等



2023年11月3日(金)文化の日
第1回『ヨソモノカイギ』開催。
盛岡に文化はあるのか？というテーマで
議論。



shop&gallery SUNABA『鉄瓶×アロマ』
個別相談＆ワークショップなど開催。

YOSOMONO

CHAPTER

3

『YOSOMONO』プロジェクト

客観的視点を持ちながら、
あらゆる物事の境界を越え、自由に行き来する。
常に変化し、変容することを認め合いながら、
立ち止まることをおそれず思考し続ける。
その時、その場所で、偶然に出会った友人たちと
実験的創作活動を行う。

CHAPTER

3

雑誌『エトランジエ』発行

ÉTRANGER



『ÉTRANGER』

「ÉTRANGER／よそもの」とは、どこかに所属していながら、どこにも所属していないような感覚を持ち続ける存在。

旅の過程の記録であり、時間をかけて思考することを肯定し、複雑で限定された「他者との出会い」を創出する雑誌。

新たな対話をうみだすきっかけとなるよう願いを込めて制作。

新規事業立ち上げ

令和6年9月、植物療法を軸とした教室および販売事業を立ち上げました。「日常に、植物を。」というコンセプトのもと、植物療法の知識と実践方法を伝えるワークショップや個別相談を行いながら、関連する製品（ハーブティー、精油など）の販売も展開しています。



起業のきっかけ



植物に触れていると、言葉にしづらい疲れや不安が、少しずつほぐれていくような感覚があります。

そんな植物の力に支えられた経験から、植物療法を学び、日々の暮らしの中に取り入れてきました。

「ここに来ると、ほっとする」
そんな小さな木陰のような場所を、盛岡のまちなかにつくりたいと思い、起業しました。

主な事業内容

- オリジナルブレンドのハーブティーを開発、販売
- 季節にあわせた香りのブレンド開発
- イベント出店、ワークショップ開催など





CHAPTER

5

今後の活動

何気ない会話の中で交わした言葉や時間が、いまの私の活動の土台になっています。

これまでの3年間で出会った方々とのご縁を大切に、これからも植物療法士として、盛岡のまちで暮らし、活動を続けていきたいです。

盛岡のまちなかに、特別な場所をつくるというよりも、自然と生まれる「心地いい時間」や「ほっとできる空間」を、これからも育てていけたらと思います。



おわりに

これまでの3年間で、たくさんの方々と出会い、かかわる機会をいただきました。そのひとつひとつが、自分自身の在り方や考え方を見つめ直すきっかけになりました。

思うように進まないことや悩む時間もありましたが、それ以上に、人のあたたかさや言葉に支えられながら、ここまで歩んでくることができたと感じています。

地域おこし協力隊としての活動はおわりますが、この3年間で育まれたご縁は、これから先も私の活動の根っこにありつづけます。盛岡という街に感謝しながら、今後もこの場所で、自分にできることをはじめていきたいと思います。

杉田有衣

THANK YOU

ありがとうございました

活動報告

— 築川地域のファンづくりを目指して —

盛岡市地域おこし協力隊
築川地区担当 高橋佑未

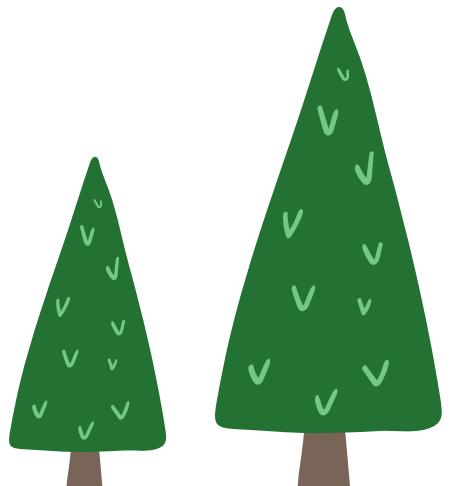


プロフィール

高橋 佑未

Takahashi Yumi

- ・千葉県から盛岡市へ移住
- ・令和2年7月 地域おこし協力隊着任
- ・2度の出産、育児休暇
- ・専門分野は語学、国際交流



活動の目標

“ 築川地域の課題に向き合い、
地域のファンを増やす ”

着任当初

まずは“築川地域を知る”

座談会

→ (ヒアリング)
を開催

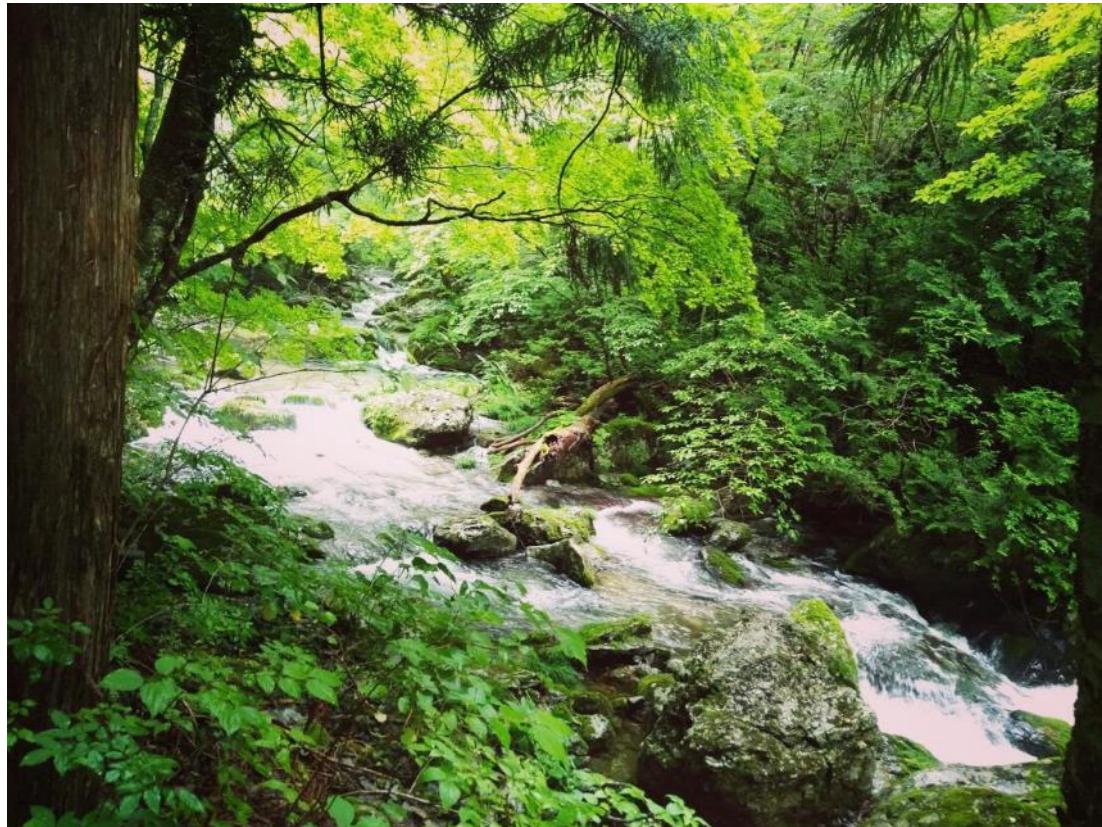


築川地域の課題

- 人口減少・高齢化
- 地域行事の減少
- 耕作放棄地の増加
- 空き家の増加
- 不法投棄
- 英語教育の格差
- 除雪の負担
- 郷土芸能の継承者不足
- 公共交通機関がない

築川地域の魅力

“地域の魅力”が知られていない



豊かな自然



昔ながらの暮らし

活動の方針

- ◆ 地域課題へのアプローチ
- ◆ 地域を訪れる“きっかけ”づくり

課題へのアプローチ①

地域行事の減少



築川・大ヶ生合同で
イベント“雪あかり”
を企画・開催



課題へのアプローチ②

英語教育の格差



築川の児童センターで
“えいごであそぼう！”を開催



課題へのアプローチ③

耕作放棄地の増加



蕎麦を地域の
伝統的な方法で栽培



地域を訪れる“きっかけ”づくり

“築川地域の地図”と
“築川産蕎麦を紹介する
リーフレット”を作成



地域を訪れる“きっかけ”づくり

築川産蕎麦を活用した体験会の開催



種まき



刈りとり



脱穀



蕎麦打ち

活動の軸①

“手間と時間をかけて
ものつくる大切さと楽しさを
次の世代に伝えたい”

体験会の参加者

大学生と家族連れが中心に参加



岩手大学農学部と連携

活動の軸②

“もっとたくさんの人々に
築川地域を知ってもらいたい”

“築川地域のファンを増やしたい！”

商品開発



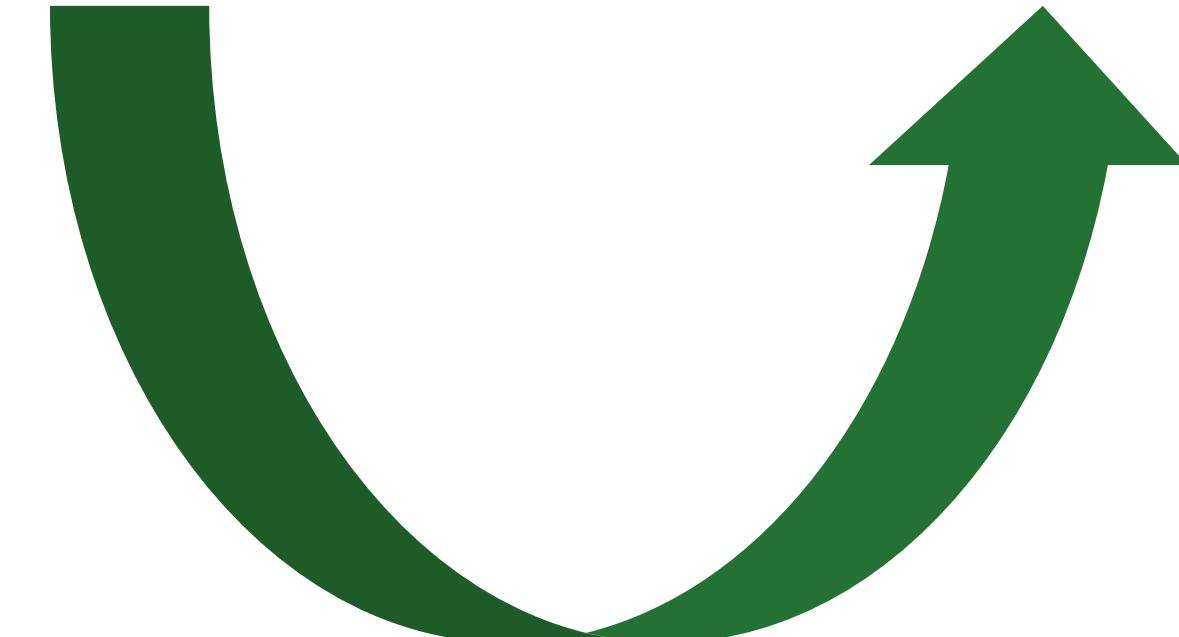
- ・ 岩手大学の学園祭で即完売
- ・ 大通りパラダイスをはじめ、
市内のイベントで販売



- ・ 「チャレンジ工房つなぐ」にて開発
- ・ ユートランド姫神の産直にて販売

活動の成果

地 域 を 訪 れ る 人 が 生 ま れ 、
継 続 的 に 地 域 に 関 わ る
関 係 人 口 ・ ファン が 増 え た



今後について

インバウンド対応ガイド



築川産蕎麦体験プログラム



築川産蕎麦を通じて、
手間と時間をかけてものをつくる
大切さと楽しさを知りました。

そして、それを次の世代に伝えたいと
心から思うようになりました。

築川地域のファンづくりは、
これからもつづきます。

THANK YOU!

ありがとうございました